

日本労働組合連合会は、戦時体制下の労働政策をめぐり、政府と対立する立場をとり、労働者の権利を擁護する活動を行った。この活動は、戦時体制下の労働政策をめぐり、政府と対立する立場をとり、労働者の権利を擁護する活動を行った。

第三ニ就テハ將來組織ヲミル場合對立スル様ナコトハ無イ。從來
 總同盟ガ提唱シタ組合會議モアツタガ總同盟ノ繩張りノ中デヤツ
 タノデ失敗シタノデアル
 組合會議ガ開カレル際ニハ労働俱樂部モ現狀トコトナツタラフ
 デハ繩張り問題ガヤカマシクイハレナイデアラウ其場合全國労働
 モ即時解体ト云フガ如キコトハイカヌガ見透シノツク時ニハ産業
 別整理ノ爲勇敢ニ進マネバナラヌ。又反對ニ他ノ組合ノ整理ヲ全
 國労働ヲ中心トシテヤツタ方ガ有効デアル場合ニハ同盟ヲ中心ト
 シテ進メバヨイ」

昭和八年三月三日
 日本労働組合連合会
 大塚英二

質問 望月源治君

「幾多ノ分裂抗争ヲミタコトハ事實デアツテソレガ益イカ悪イカ
 ノ問題デ無イ、政治的意見ガ戦線統一ノ上ニ妨害トナラズト云フ
 コトハ想像サレルガ然ラバ寧ロ政治的問題ヲ放棄シタ方ガ遙カニ
 戦線統一ノ上ニ利便ガアルノデナイカ、全國労働ガ労働大衆黨支